

ムサシアブミ（武蔵鑑）5月3日、八王子・片倉城跡公園隣りの浅間神社境内で30株以上開花していました。3出複葉の葉は、やや光沢があり、ひときわ大きく葉柄は30センチ以上もあるので目立ちます。花の形は仏炎苞で鐘に似ていて、花柄は葉柄よりも短いですが、野太く存在感があります。毒性があるので、取扱いには注意が必要です。粕谷

紅葉台



新聞

第186号

2025年
6月14日

発行人：関谷 孝

粕谷和夫の観察日記



野山北・六道山公園の雑木林では**シュロ（棕櫚）**も花を咲かせていました。日本のような温帯地域で古来より親しまれた数少ないヤシ科植物、「ヤシみたいな木」です。このため、庭園、公園に限らず民家の軒先に植えられています。春に大きな円錐花序を出し、ちいさな粒状の黄色い花を密集して咲かせます。花の後には直径1センチほどの丸い実ができ、秋になると黒紫に熟し、これを食べた野鳥（ヒヨドリ）の糞に含まれる種子が拡散されるので、公園など以外の道端や雑木林の中でもどこでも普通に見られる訳ですね。

矢川緑地は湧水と野菜と居心地のいい場所



東京は湧水が豊かです。今回探検に行った「矢川緑地」は羽衣町の南端に位置し、国立市と隣接しています。貴重な自然の残る約2.1ヘクタールの緑地です。湧き水探検に植物に詳しいナナコさん行ってきました。（南武線西国立駅下車 徒歩5分）



矢川は、立川段丘を水源とする約1.5キロメートルの小さな川。JR 矢川駅の北西に位置するのが「矢川緑地保全地域」。矢川を挟んで北側に雑木林が茂り、湧水は池の間際に湧いていました。南側は、湿地が広がり、その中を木道が巡ります。また矢川にはミクリ（多年草の抽水植物で浅水中や湿地に生育する植物。6～9月頃、茎の上部に白く球状の花をつけ、そのまま球状の実をつけます。姿はガマによく似ています。）などの貴重な水生植物があり保護されていました。この日は、親子連れがザリガニを捕りに来ていました。川床に無数の穴がありザリガニが顔をのぞかせていました。また、アカガエルの繁殖地でもあり、オタマジャクシが泳いでいました。カルガモが2羽陸に上がって気持ちよさそうに寝ていました。木々の中から、オナガの鳴き声が聞こえ、飛んでいるのが見えました。アオゲラの鳴き声もよく聞こえました。また、たくさんのフキの束を抱えたおじさんが「ここでフキが採れる。柔らかくて美味しい」と話していました。水はコンコンとわき、透明度が高かったです。この水は甲州街道から青柳段丘をくぐり府中用水に流れ込んでいきます。

樹林地は、シラカシ、ケヤキ、コナラ等大木も見られました。それから「ムサシアブミ」の群生があり、

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

あちこちで見ることが出来ました。ここは、市街地化が進んだ中であって、小規模ながらひときわ良好な自然地を形成しており、昭和52年「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき都の緑地保全地域として指定され保全されています。木々と澄み切った水が豊かなこの地域は、地域の方の散歩コースになっているようでした。



矢川駅に向かって住宅地を歩くとところどころ畑が広がっています。JR 矢川駅の近くには「矢川プラス」という一際立派な建物が見えました。吸い込まれるように入っていくと広々とした室内にたくさん子どもと保護者が遊んでいました。職員の方から話を聞くと、ここは赤ちゃんからお年寄りまで誰でもが楽しめる施設になっていて自由に無料で過ごせるそうです。パンフレットを見るとコンサートや科学教室など大学とコラボしたイベントがたくさんありました。また、子ども食堂もあり、昼食の準備をしているところでした。

ネットで調べると、「矢川プラスは、「ここすきひろば」「児童館」など、子どもや保護者など子育て世代が利用する機能と、「みんなのホール」「みんなのひろば」「多目的ルーム」などの多世代が利用できる機能を同じ建物にまとめた、複合公共施設。矢川プラスは、皆さんがつどい、つながり、地域のにぎわいをつくりだし、このまちの元気と未来をみんなで作っていくための拠点。」「矢川プラスは、まちなかのみんなの居場所。あらゆる世代の人々が利用できる機能をそろえた、だれでも、目的がなくてもふらっと立ち寄り、思い思いに楽しむことができる、居心地のよい空間を提供しています。」とありました。

くにたち子どもの夢・未来事業団は、国立市が設立母体の社会福祉事業団として、2019(令和1)年9月2日に設立された社会福祉法人で運営しています。法人は、国立市が推し進めるソーシャル・インクルージョンのまちづくりの理念の下、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指しています。その理念を知り、ますます子育てから高齢者まで応援の町に素晴らしい街づくりと感心しました。

ランチは地元野菜をふんだんに使った「くにたち野菜工房 中道カフェ」に行きました。矢川駅のすぐ近くです。水を巡る散歩にぴったりでした。駅前には樹齢を感じる桜並木があり、春は桜がとても美しいのではと想像しました。よかったらお散歩にお出かけになってみてはいかがでしょうか！



湧水めぐりの散歩も楽しいですよ。

定休日：月曜日

営業時間：11:30-22:30 日祝は-20:30